

# 13 ミミヲキリ、ハナヲソギー阿氏河荘百姓申状を読み直す

## ◆阿氏河荘百姓申状をめぐる疑問

鎌倉時代の地頭の横暴を最もよく示す史料として有名な、建治元年（一二七五）十月二十八日付けの阿氏河荘百姓申状（図20）。なかでもその第四条に見える「ミミヲキリ、ハナヲソギ」の部分は衝撃的です。しかし、この史料から「この時代の地頭は大変悪辣で、百姓は苦しめられる一方だった」と理解するだけでよいのでしょうか。

また、この申状はほとんどがたどたどしい片仮名を使い、百姓たちの生々しい怒りや苦しみを感じられるものとなっていますが、実は同じ年の五月にも彼らは訴状を出しており、そちらはすべて漢字を用い、決まった形式に基づいたものでした（図21）。いったい、この違いが意味するところは何なのでしょいか。

## ◆阿氏河荘の位置と支配関係

阿氏河荘は、現在の和歌山県有田川町付近、有田川の上流域に位置していました。当時、本家は京都の円満院、領家は同じく寂楽寺であり、円満院から任命された預所が荘園を管理

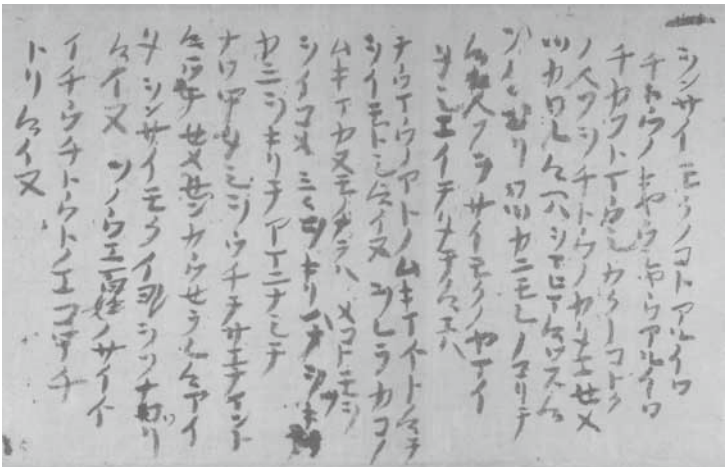


図20 建治元年10月阿氏河荘百姓申状  
（一部、高野山金剛峯寺霊宝館所蔵）

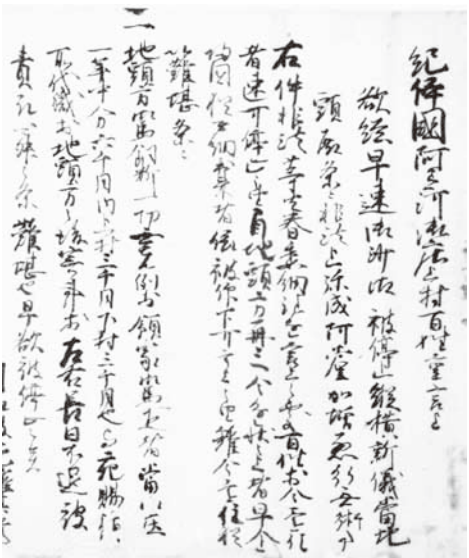


図21 建治元年5月阿氏河荘百姓申状  
（一部、高野山金剛峯寺霊宝館所蔵）

していました。一方、現在の和歌山県有田郡湯浅町付近を根拠地とする有力武士の湯浅氏が、鎌倉初期から阿氏河荘地頭となり、支配を強めていました。

## 39 日本国憲法誕生秘話

### ◆日本国憲法誕生をめぐる疑問

現行憲法(図58)が、GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の作成した草案をもとにできたものであることは、よく知られています。しかし、そのための最終的な詰めが、GHQの担当グループに日本政府の官僚一名が加わり、わずか三十時間で行われたことはご存知でしたか。

なぜGHQは憲法草案の作成を急いだのでしょうか。そして、画期的な戦争放棄条項が盛り込まれた背景は、何だったのでしょうか。

### ◆天皇制維持に関する日米世論

日本政府及び軍部がポツダム宣言を受諾するの

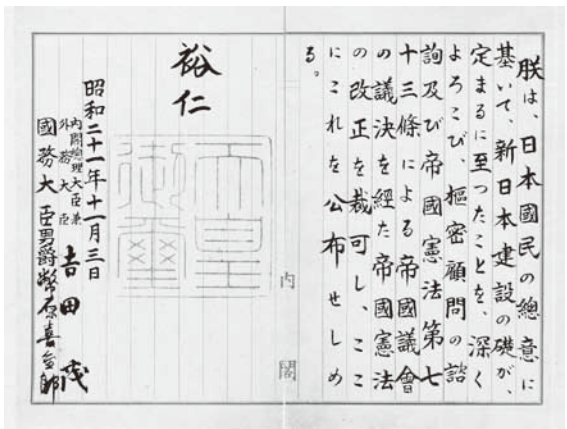


図58 日本国憲法(一部、国立公文書館所蔵)

し、最後までこだわったのは「国体の護持」、すなわち天皇制の維持でした。占領開始後、GHQから憲法改正を指示された日本の指導者たちの大きな心配も、この点にあったのです。

これに対し、戦争末期のアメリカ世論は大変厳しいものでした。すなわち、昭和二十年(一九四五)六月のギャラップ調査によれば、米国民の約八十%が戦後天皇は有罪とすべき(このうち処刑すべきは三十六%)と答えています。

一方日本国民は、昭和二十一年二月に新聞各紙に発表された調査結果によると、天皇制支持が九十一%でした。ではこのうち、**天皇主権を支持した人はどれくらいいたと思いますか。** 答えは十六%でした。これに対し、天皇は政治から離れ、民族の総家長、道義的な中心となることを支持した人は、四十五%と最も多数でした。政治指導者層とは異なり、一般国民の多くは、既に象徴天皇制の考え方をもっていた点が注目されます。

### ◆アメリカの思惑

アメリカ政府・軍の一部では、実は既に戦争末期の時点で天皇制維持を決めていました。マッカーサー総司令官も、昭和二十一年一月二十五日、アイゼンハワー陸軍参謀総長に対し、「日本国民統合の象徴である天皇を破滅させれば日本国は瓦解し、全国民は抵抗して大きな混乱が続くであろう。そうした状態の中で占領を続ける場合、少なくとも百万人の軍隊と数十万人の行政官、戦時補給体制の確立が必要である」と進言しています。